

令和6年度 医師及び看護師等の業務負担軽減のための取組 (R6.4-6月期)

令和6年6月30日現在

					【DO】	【CHECK】	【ACT】	
	分類項目	取組主体	取組項目	取組方向	診療報酬	取組結果 (6年度第1期 (4~6月) まとめ)	評価結果	第1期の取組結果を受けての今後の活動
1	A-1-(1)	診療部事務局 (総務課)	医師の負担軽減対策	医師確保	有	<ul style="list-style-type: none"> 救急科配置医師は現時点で2名のままである 公募等を継続しているが応募はない状況である ICU宿日直の許可を受け、7月から宿日直として開始 	×	<ul style="list-style-type: none"> 招聘医師(3名)は引き続き勤務中 公募を継続すると共に各方面に働きかける
2	A-1-(3)	診療部事務局 (総務課)	医師の負担軽減対策	医師時間外管理	-	<ul style="list-style-type: none"> 追加的健康確保措置に伴う面談を開始した 毎月、診療部科長会において時間外等の状況を報告し、共有化をはかっている 医局会等で代償休息制度の概要を周知した 	△	<ul style="list-style-type: none"> 診療部内における情報共有を継続し、時間外縮減を診療部主体で進める B水準認証病院としての義務(28H超連勤、インターバル9時間未満、追加的健康確保措置)を遵守 月時間外100時間以上者の削減に取り組む
3	A-2-(2) B-2-(2)	薬剤部	医師と他職種との役割分担	薬剤部取組	有	<ul style="list-style-type: none"> 6月末時点での病棟薬剤師配置数は9名です 全病棟において薬剤師による持参薬入力を実施しており、服薬指導も積極的に進めている 	△	<ul style="list-style-type: none"> 病棟薬剤師配置は現在9名体制を維持 R6年度は病棟薬剤師完全配置に向け増員予定 服薬指導件数はR5年度平均で499件、R6年度は550件を目指す
5	A-2-(8) B-2-(7)	事務局 (医事経営課)	医師と他職種との役割分担	医事経営課の取組	有	<ul style="list-style-type: none"> R6.4から2名、R6.5から1名、R6.6から2名を採用増員した R6.7及び8月に退職予定の外来クラーク2名に対して補充のための配置やシフト調整を行なった 消化器内科医の要望でR6.5から肝炎未告知者の拾い出し作業を開始した 複数部署業務を遂行できるようスタッフと面談を行い、配置やシフトを調整した 	△	<ul style="list-style-type: none"> 文書作成の新人育成(指導者/指導方法)を見直す 複数部署業務が可能となるよう配置やシフト調整を続ける 派遣職員も含め育成/人材確保を行ない、安定した体制を構築維持する 30:1加算の取得を目指す 肝炎コーディネーターを増やす
6	B-1-(9) B-2-(7) C-1-(2)	リハビリテーション室	看護師と他職種との役割分担	リハビリテーション室の取組	-	<ul style="list-style-type: none"> 病棟ーリハ室間の患者送迎の集約化と効率化に取り組み、看護、リハ両部門の負担軽減を図る。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 完全実施には至らなかった 午前中は11:45以降、午後は13:00~13:30、17:00以降の時間帯におけるリハビリスタッフによる完全実施を目指す
8	A-2-(1)	看護部	医師と他職種との役割分担	看護部の取組	-	<ul style="list-style-type: none"> 創傷管理関連、集中治療、栄養及び水分管理分野の特定行為認定看護師(3名)が院内において活動中 現在、1名が集中治療分野で研修中である 	△	<ul style="list-style-type: none"> 創傷管理においては医師の代わりに一部処置、検査などの代行入力を行う 現在研修中の看護師の認定取得を目指す 更なる分野の拡大を検討する
9	A-2-(6)	臨床工学室	医師と他職種との役割分担	臨床工学室の取組	-	<ul style="list-style-type: none"> (手術室) 毎日2名が常駐(1名は専従) 4-6月実績:搬入76件/準備306件/点検535件/立会279件/対応9件/ スコープオペレーター業務 1件 (内視鏡) 内視鏡業務(ESD, ERCP対応)ができる技師の育成。R6年度より4名体制。(4-6月) 対応 60件 	△	<ul style="list-style-type: none"> スコープオペレーター業務等を増加させる 内視鏡対応できる人材の育成を進める 認定資格者を育成する 内視鏡室での機器管理の充実する
10	B-2-(4)	中央検査部	看護師と他職種との役割分担	中央検査部の取組	-	<ul style="list-style-type: none"> 採血場所を一般検査室に移し、予約制で問題なく稼働している 	○	<ul style="list-style-type: none"> OGTT担当だった注射対応の看護師さんの応援が足りてない現状で、検査部においてOGTTを全面的に受け持ったことで、看護師の負担軽減となった。今後も継続していく
11	A-2-(4)	中央検査部	医師と他職種との役割分担	中央検査部の取組	-	<ul style="list-style-type: none"> ICUでのモニタリングでのA-EEGについて1件の依頼があり実施 NICUについて操作マニュアルの確認はできたが、実運用の部分で詰められていない部分があり精査が必要 	△	<ul style="list-style-type: none"> 今後、NICUでの運用を話し合いデモ検査を経て電子カルテへの取込み等も考慮し進めていく

						【DO】	【CHECK】	【ACT】
	分類項目	取組主体	取組項目	取組方向	診療報酬	取組結果（6年度第1期（4～6月）まとめ）	評価結果	第1期の取組結果を受けての今後の活動
12	a-2-(4)	中央検査部	医師と他職種との役割分担 中央検査部の取組	血液型の亜型や不規則抗体陽性者への患者説明に同席し、業務を補助する	-	・日本輸血細胞治療学会の例を元にレイアウトの作成中	△	・患者説明を行うために担当者内で説明練習 ・患者さんに渡す説明書の作成
13	A-2-(3)	中央放射線部	医師と他職種との役割分担 中央放射線部の取組	休日夜間において緊急にX線を用いた処置が必要となり日当直技師が担当できない場合、医師が単独で処置するのではなく、技師待機者を呼出して業務に従事させることで、リスク回避と業務負担軽減に繋げる	-	4月 1件※ 5月 0件 6月 0件 ※ 想定外の処置であったが、対応した	△	・胆道系に限定することなく対象を拡大する
14	A-2-(3)	中央放射線部	医師と他職種との役割分担 中央放射線部の取組	法令改正により技師が造影剤の着脱を含めた取扱いが可能となったため、救外を除く午前中の造影CT及び頭部CT-A検査の造影剤着脱を技師が行なうことで、医師の業務負担軽減に繋げる	-	・4月 0件 ・5月 4件 ・6月 21件 5月13日より開始し、順調に増加している	○	・引き続き当該業務を継続する ・条件の緩和を検討する ・条件下では概ね施行できた ・条件外においても施行実績が散見された
15	B-2-(3)	中央放射線部	看護師と他職種との役割分担 中央放射線部の取組	3TMRIの造影剤着脱は看護師にお願いしていたが法令改正により技師が行えるようになったため、末梢確保されている事例に限り技師のみで造影検査を完結させる	-	・4月 0件 ・5月 9件 ・6月 23件 5月13日より開始し、順調に増加している	○	・引き続き当該業務を継続する ・条件の緩和を検討する ・条件下では概ね施行できた ・人員手配可能な際、1.5Tでも同様に施行した

*No. 4, 7欠番